

オピニオンリーダー養成講座

伊予市教育委員会事務局 社会教育課

1 目的

伊予市では、市民の人権が尊重される地域社会の実現のため「伊予市人権を尊重する社会づくり条例」を制定しています。これに基づき、同和問題をはじめとするさまざまな人権に関する問題を解決していくには、市民一人ひとりが人権について一層関心を深め、人権感覚を高めることが重要です。日常生活において実践的に人権意識を培うこと、また地域に根ざした教育・啓発活動を展開していくための世論形成者(意見指導者)を養成することを目的として、本講座を開講しています。

2 講座の内容

◆第1講 2019年5月23日(木)

テーマ「今、子どもたちが学んでいること」

講師 小学校教諭

小学校を中心に、人権問題学習で子どもたちが学んでいる内容を具体的に紹介。学習時には①実態への正しい理解 ②問題に気づき・考え・実行する力を養う ③先人たちの行動に学び解決への明るい展望をもつ という3点に留意している。

子どもたちが人権文化を築こうとしている。家庭や地域でも、子どもをサポートできるように人権意識の向上をお願いしたい。

◆第2講 6月6日(木)

テーマ「部落差別解消の歴史」 講師 小学校校長

差別がなくならない原因の一つが無関心。部落差別の解消は、自分自身の問題として受け止めることから始まる。

平成28年には「部落差別解消推進法」が施行された。部落差別は解消しつつあるが現存する。迷信や偏見に惑わされることなく、いわれのない差別であるという正しい知識をもち、解消に向かって行動することが必要。



**第21期オピニオンリーダー養成講座
2019年受講者を募集します!**

私たちの周りにある様々な人権問題を解決するためには、お互いが人権について関心を深め、人権感覚を高めることが大切です。
本講座では、日常生活の中で実践的に人権意識を培うとともに、地域に根ざした啓発活動を展開していくための推進者づくりを目指します。
あなたも人権についていっしょに学びましょう。

第1講 5月23日(木)
[今、子どもたちが学んでいること]
講師: 森岡 郁雄 (伊予小学校教諭)

第2講 6月6日(木)
[部落差別解消の歴史]
講師: 宮岡 真司 (中山小学校校長)

第3講 6月13日(木)
[子ども理解と教育相談]
講師: 忽那 仁美 (巡回教育相談員)

第4講 6月20日(木)
[特別な支援を必要とする子どもへの関わり方]
講師: 山内 望 (教育センター特別支援教育室指導主事)

第5講 6月27日(木)
[男女が共に笑顔で輝いていますか?]
講師: 亀岡 マリ子 (元愛媛県男女共同参画センター館長)

2018年度人権ボスター総優秀
伊予中 谷岡 沙耶さん

●会場 伊予市役所4階 大会議室 ●時間 19:00~20:30

●受講対象 どなたでも受講できます。3回以上受講した方には、修了証をお渡しします。
●申し込み 5月14日(火)までに下記または各地区公民館へお申し込みください。

伊予市教育委員会 社会教育課(982-5155)

主催:伊予市教育委員会 共催:愛媛県人権教育協議会伊予市支部

◆第3講 6月13日(木)

テーマ「子ども理解と教育相談」 講師 巡回教育相談員

SNS等の発達により、子どもを取り巻く社会は大きく変化している。不登校、いじめ、児童虐待が増加しており、就職した後も人と接する職業の離職率が高い。心の成長のためには同年代の子どもとの関わりが大切。

子どもは、居場所を感じることができればがんばれる。経験豊富な大人として自分の失敗や成功を語ってほしい。

◆第4講 6月20日(木)

テーマ「特別な支援を必要とする子どもへの関わり方」

講師 愛媛県総合教育センター指導主事

特別支援学校では、最小の支援で、自分のもっている力を100%発揮し、自主的・主体的に生活することを目指している。子どもは認められたい、褒められたい存在である。不適切な行動をせざるをえない苦しみを理解しよう。本人の努力だけでは対応できないことがある。周りの環境や周りの人の関わり方によって、障がいは障がいでなくなる。



◆第5講 6月27日(木)

テーマ「男女が共に笑顔で輝いていますか？」～ハラスメントのない家庭・地域・職場づくり～ 講師 元愛媛県男女共同参画センター館長

男女共同参画社会は、男女共に多様な生き方を可能にし、急激な変化に対応できる活力ある社会を実現するために必要。根強い固定的性別役割分担意識を取り去り、男女が共に自分らしく生きやすい社会にしよう。相手を尊重する気持ちをもてば、今以上にみんなが笑顔で生き生きと輝ける伊予市になる。

3 成果と課題

継続した取り組みを続けて21回を数えます。参加者も延べ1000名を超えました。今年度も各種関係団体や教職員、行政職員などから、幅広い年代層の82名の皆さんが受講してくださいました。PTAや愛護班からは子育て世代の保護者の参加があり、子連れで受講していただいた方もありました。なお、本市の新規採用職員については、本講座を必須研修と位置付けています。

毎年継続して受講して下さる方がいるので、マンネリ化しないよう講義内容を工夫したり、新たな講師を確保したりする必要があります。また、受講者がリーダーとして活躍できる機会を作ることも必要です。

知らないことを正しく知り、気づけなかったことに気づく“きっかけ”となる、難しいことをやさしく学べる講座として、これからも続けていきます。